

【様式】

令和2年度 学校マネジメントシート

学校名 (杉の子特別支援学校)

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		一人ひとりの可能性を伸ばし、生きる力を育む学校をめざす。
(2)	育みたい 児童生徒像	<ul style="list-style-type: none"> ・自立と社会参加をめざし、主体的に取り組む子ども ・自己肯定感や他者を思いやる気持ちを持ち、自他の命を大切にし、人権感覚あふれる子ども
	ありたい 教職員像	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育に情熱をもって取り組み、子どものニーズや障がいの特性に応じた教育活動や地域支援を推進する教員 ・対話・会話を大切に、同僚と協働でき、組織力の向上をめざす教員 ・防災対策や防災教育、人権感覚あふれる学校づくり等、子どもたちが安心・安全に過ごせる学校づくりを推進していく教員 ・保護者・地域・関係機関と連携し、就学前から卒業後までの一貫した指導・支援を推進していく教員

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p>〈児童・生徒〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立と社会参加に向けて、様々な体験的な学習を経験して、卒業後の生活に必要な力や主体性を育ててほしい。 ・一人ひとりが活かされる仲間づくりを推進してほしい。 <p>〈保護者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりのニーズに応じた自立と社会参加に向けた教育と進路実現を推進してほしい。 ・安心・安全な学習環境を維持継続してほしい。 <p>〈地域の学校・関係機関〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域における特別支援教育の充実・推進に向け、センター的機能を発揮してほしい。 	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	<p>連携する相手からの要望・期待</p> <p>〈保護者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒一人ひとりのニーズに応じた安心・安全な教育 <p>〈地域の学校〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流を通しての共生共学に対する理解と推進 ・地域の特別支援教育のセンター的機能 <p>〈地域の関係機関（企業・福祉施設等）〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報提供や障がい者理解に向けた支援 <p>〈地域社会〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校の教育活動の公開と情報提供 	<p>連携する相手への要望・期待</p> <p>〈保護者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目指す学校づくりへの理解と協力 <p>〈地域の学校〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流を通しての様々な活動や体験 <p>〈地域の関係機関（企業・福祉施設等）〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場実習の受け入れ及び就労実現 ・職業授業への情報やノウハウの提供 ・放課後等の利用、卒業後の入所 ・就労や施設利用に関する情報の提供 <p>〈地域社会〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会活動への参加や進路先の確保、卒業後の支援 ・本校の教育活動の理解と協力
(3) 前年度の学校関係者評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・全校あげての公開授業の取組は評価でき、継続した取組と内容の充実が望まれる。 ・教職員の人権意識の向上、いじめや体罰を許さないといった職場の雰囲気作りを更に推進してほしい。 ・防災については危機管理の観点からも日々の備えを進めてほしい。 ・現状を把握しつつ、教員の負担軽減に取り組んでほしい。 	

(4) 現状と課題	教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の障がいの重度・重複化、多様化に対応した指導支援、学習指導要領に対応した目標設定と評価がなされる教育実践、卒業後の生活を見通したキャリア教育の推進が課題である。そのため、家庭や関係機関との連携強化、専門性向上の研修、授業研究、事例検討・ケース会議等の充実に努める必要がある。 ・重度重複障がい教育の更なる充実、医療的ケア体制の整備が求められている。 ・新学習指導要領に対応した一貫性のある教育課程を編成する必要がある。 ・保護者からも人権教育、命を大切にする教育、性に関する教育、対人関係能力の向上の取組、交流及び共同学習の充実に努められており、系統的・計画的・組織的な実践、並びに、自己肯定感を高める取組を推進していく必要がある。 ・自立と社会参加を目指す教育の充実に向け、学習指導要領の教科の目標・内容に対応し、キャリア教育の視点を踏まえた体験的な学習を推進する必要がある。
	学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の学校や関係機関等への研修や支援・情報発信が求められており、特別支援教育におけるセンター的機能の更なる充実を図る必要がある。 ・組織的な実践力・対応力の定着、専門性・授業力の向上を推進する必要がある。 ・大規模災害を想定した防災訓練・防災教育を実施し、教職員の対応力向上を推進する必要がある。また、危機管理に対する保護者との連携強化に努める必要がある。 ・分校、関係機関（鈴鹿病院等）、保護者との連携や情報共有の推進、地域とのつながりを強化し、開かれた学校への展開を推進する必要がある。 ・信頼される学校、教職員が働きやすく協力し助け合える職場づくりが求められている。また、業務内容の見直しを進め、総勤務時間の縮減に向けた取組を推進していく必要がある。

3 中長期的な重点目標

教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいの重度・重複化、多様化に対応した指導支援、学習指導要領に対応した目標設定と評価がなされる教育実践、卒業後の生活を見通したキャリア教育を推進する。 ・児童生徒の学校生活の充実、保護者の負担軽減を推進する医療的ケア体制を整備する。 ・新学習指導要領に対応した一貫性のある教育課程を編成する。 ・系統的・計画的・組織的な人権教育、命を大切にする教育、性に関する教育、対人関係能力の向上の取組を推進する。 ・学習指導要領の教科の目標・内容に対応し、キャリア教育の視点を踏まえた体験的な学習に取り組む。
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の学校や関係機関等への研修や支援・情報発信を推進し、特別支援教育におけるセンター的機能の充実を図る。 ・組織的な実践力・対応力の構築、専門性の向上・授業力の向上のため、研修機会の充実を図る。 ・大規模災害を想定した防災訓練・防災教育を実施し、教職員の対応力向上を推進する。また、危機管理に対する保護者との連携を推進する。 ・本校・分校、関係機関（鈴鹿病院、石高等）、保護者との連携や情報共有の推進、地域とのつながりを強化し、開かれた学校への展開を推進する。 ・信頼される学校、教職員が働きやすく協力し助け合える職場づくり、総勤務時間縮減に向けて取り組む。

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

項目	取組内容・指標	結果	備考
○キャリア教育の推進、新学習指導要領に対応した教育実	○キャリア教育プログラムに基づいた授業の充実 【活動指標】 ・新学習指導要領に対応したキャリア教育プログラムの点検と修正 ・キャリア教育プログラムに基づく授業公開(教員相互による授業)		

<p>践の確立</p>	<p>見学と研究協議)の実施</p> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門家を招いてキャリア教育プログラム及びその活用についての検討 3回 ・新学習指導要領の対応と「杉の子キャリア教育プログラム」を活用した授業公開の実施 50回以上 ・キャリア教育プログラムの活用についての教員アンケートの満足度 80%以上 	<p>専門家を招いての検討 4回</p> <p>授業公開の実施 44回</p> <p>教員アンケート満足度 89%</p>	
<p>○命を大切に する教育、 人権教育 の推進</p>	<p>○児童生徒一人ひとりが自己肯定感を高め、お互いを認め合い 適切な人間関係を形成する取り組みの推進</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・杉の子人権週間や、いじめ防止月間の取り組みを中心とした自分自身や相手を大切にすることを育む人権意識等の向上 ・人権等の職員研修の実施により人権意識等の向上と各自の人権教育等に対する振り返りの機会の設定 ・新型コロナウイルス感染防止による臨時休業等による児童生徒のストレス等の解消や心のケアについての取組 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間づくりを進め、いじめをなくすための児童生徒会を中心とした全校集会の実施 年間 5回 ・職員研修会実施後の人権意識向上の達成度 80%以上 	<p>人権等の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・命を大切に学習 ・自尊感情を高める学習 (自分の名前の学習等) ・コロナ禍に対応した人権研修 <p>全校集會中止(感染防止のため) 児童生徒会のビデオ撮りを学部で視聴</p> <p>人権意識向上達成度</p> <p>96.5%</p>	
<p>○体験的な 学習の充実</p>	<p>○新学習指導要領に示されている実際の社会や生活に必要な知識・技能や、思考力・判断力・表現力や学びに向かう力などが育成できる校外学習や職業実習などの取り組み</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会体験や公共のルールを身につけることを目的とした校外学習の実施 ・働くことの意義や知識技能を身につけることを目的とした校内実習や現場実習の実施 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学部校外学習における新学習指導要領小学部「生活」の内容「きまり」「社会の仕組みと公共施設」から設定した個人目標の達成率 80%以上(小学部) ・新学習指導要領中学部「職業・家庭」の内容「職業生活」から設定した個人目標の達成率 80%以上(中学部) 	<p>校外学習の実施</p> <p>小学部 2回、中学部 5回、高等部 2回、小中C課程 1回</p> <p>実習の実施</p> <p>中学部 11月16日～20日 高等部 9月14～18日、2月15日～16日、2月24日～25日</p> <p>個人目標達成率(小学部)</p> <p>96%</p> <p>個人目標達成率(中学部)</p> <p>98%</p>	

改善課題

校外学習等体験的な活動、児童生徒会活動等について、感染防止の観点から中止や延期、形態を変えての実施等となった。来年度もこの状況が継続すると想定されるので、代替の方法等を工夫することで、学習保障を図っていく必要がある。

(2) 学校運営等

項目	取組内容・指標	結果	備考
○センター的機能の充実	<p>○地域の特別支援教育についての理解啓発および専門性向上のための取り組み</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者のニーズに合わせた体験研修の実施 ・地域の施設等への児童生徒作品等の掲示による啓発 ・かがやき特別支援学校と連携した地域支援の実施 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験研修参加者のニーズに対する満足度 80%以上 	<p>体験研修の実施 22 回</p> <p>連携した地域支援 3 回</p> <p>参加者の満足度 100%</p>	
○組織的な実践力・対応力の構築、専門性の向上	<p>○児童生徒が主体的に活動できるための授業づくりや支援についての取り組み</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学部研修、教育部門別研修会等の実施 8 回 ・専門家を招聘したケース検討会の実施 4 回 ・キャリア教育プログラムに基づく授業公開(教員相互による授業見学と研究協議)の実施(再掲) <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他学部の授業公開への参加 教職員全員 	<p>研修会の実施 9 回</p> <p>専門家招聘研修 4 回</p> <p>授業公開の実施 44 回</p> <p>学部間での授業公開に全教職員参加</p>	
○危機管理等における対応力の向上	<p>○教職員の防災意識の向上と火災・地震等を想定した訓練の実施</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の防災学習の実施 各学期 1 回 ・避難訓練の実施 3 回 ・教職員対象の防災危機管理等の研修 2 回 ・防災等の取り組みについて、プリント等による保護者への情報提供 3 回 ・新型コロナウイルス感染防止の取り組みを進めつつ、安全安心を確保した教育活動の継続 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の実施率 100% ・防災についての保護者アンケート満足度 80%以上 	<p>防災学習の実施 3 回</p> <p>避難訓練の実施 2 回</p> <p>教職員研修 2 回</p> <p>防災だよりの発行 3 回</p> <p>避難訓練実施率 66%</p> <p>保護者満足度 86%</p>	
○関係機関・保護者との連携・信頼関係の強化	<p>○保護者が早期から進路について考える機会、障害者総合支援法に定められている様々な福祉サービス、石薬師分校(高等部)についての情報を知る機会の設定</p> <p>○鈴鹿病院との円滑な連携による病棟生の教育内容の充実</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・希望する保護者への進路懇談会の実施(福祉サービスの説明、自宅近隣の施設の確認、本校及び石薬師分校の進路指導 	<p>進路懇談会の実施</p> <p>小学部2回 中学部3回</p>	

<p>○信頼される学校、働きやすい職場づくりの推進</p>	<p>計画等の説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学部生徒保護者の石薬師分校の見学会や授業体験の実施 ・病棟との連絡会、生徒指導懇談会の定期的な開催による児童生徒の支援や安全衛生に関する情報共有 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路懇談会終了後アンケートの満足度 80% <p>○コンプライアンスの遵守による信頼される学校づくりと働き方改革に基づく働きやすい職場づくりの取り組み</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンスミーティングの実施 2回 ・学校倫理委員会等によるコンプライアンスの相互チェック ・ランチミーティングによる職員間の円滑なコミュニケーションの促進 1回 ・定時退校日の設定 1回/月 ・ノー会議デーの設定 25日/年 ・時間外労働の「上限時間」の遵守 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員アンケートによる働きやすい職場率 80%以上 ・年360時間、月45時間を超える時間外労働者0人 ・休暇取得の促進 一人あたり年20日以上取得 ・定時退校日の時間外勤務者 5人以下 ・定例会議の時間内終了率 85%以上 	<p>高等部3回</p> <p>分校見学 11月に実施</p> <p>分校授業体験 中止</p> <p>病棟との定期的な連絡会:月3回程度実施</p> <p>進路指導についての満足度 80%(保護者アンケート)</p> <p>コンプライアンスミーティング 2回実施</p> <p>ランチミーティング 感染症防止対策を行い1回実施</p> <p>定時退校日 月1回</p> <p>ノー会議デー 年25日</p> <p>月80時間以上労働者0人</p> <p>職場満足度 78%</p> <p>45時間超労働者 0人</p> <p>休暇取得一人平均 23日</p> <p>定時退校時間外勤務者 0人</p> <p>会議の時間内終了率 93%</p>	
-------------------------------	--	--	--

改善課題

対外的な行事等については、コロナ禍の影響で目標値を下回る結果もあった。臨時休業期間中など、在宅勤務等を行うことで分散勤務を行った。また、行事等が変更になったことで当初業務量が増えたが、その後は減少することとなり、総勤務時間の軽減や休暇取得につながったと考えられる。これを機会に行事や各種取組の見直しや効率的な勤務形態等を検討することで、効率的な教育効果と働き方(業務量等)のバランスを検討する必要がある。

5 学校関係者評価

<p>明らかになった改善課題と次への取組方向</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の対応等引き続き留意して、子どもたちが安全に安心して学ぶことができる環境を整えてほしい。特に、新型コロナウイルス感染症の対策と学校と保護者との円滑なコミュニケーションを図ることについて両立をお願いしたい。 ・コロナ禍における地域との連携の図り方、行事等について、見直すいい機会と捉え検討が必要ではないか。 ・児童生徒の情報の引継ぎについて、職員のポイントが高いが、保護者は十分満足であるとはいえないので、内容や方法の検討が必要ではないか。
----------------------------	--

6 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	<ul style="list-style-type: none">・ 今後もコロナ禍の影響が見込まれることから、安心・安全な教育環境を整えるとともに行事や教育活動の実施形態等の見直しを進め、教育内容の保障を行う。・ 教育内容を充実させるために、授業公開等による授業力の向上や、教育内容が積み上がるように指導計画や引継ぎ等について検討を行う。
学校運営についての改善策	<ul style="list-style-type: none">・ 社会情勢や教育環境が変化したことを契機として、行事や様々な取組について再検討するとともに、働き方改革についても検討を進める。・ 学校整備を進める必要があることからハード面、ソフト面について石薬師分校と連携しながら取組を進める。